



令和8年3月6日

立川市議会

議長 福島正美 殿

立川市議会環境まちづくり委員会

委員長 中町 聡

行政視察報告

このことについて、下記のとおり報告いたします。

記

1 視察月日

令和7年11月4日（火）から5日（水）

2 視察地及び視察事項

視察都市名	視 察 事 項
北海道札幌市豊平区	「とよひらまちづくりパートナーズ」について
北海道石狩市	ゼロカーボン・シティに対する取り組み、再生可能エネルギーの地産地活について

3 視察の概要及び所感

別紙のとおり

立川市議会環境まちづくり委員会 行政視察報告

○1 日目 北海道札幌市豊平区

視察事項：「とよひらまちづくりパートナー制度」について

1. 日時 2025年11月4日（火）15時から

2. 場所 豊平区役所

3. 視察参加者 環境まちづくり委員会

委員長：中町聡 委員：上條彰一、福島正美、高口靖彦、江口元気、あべみさ

4. 報告

環境まちづくり委員会では、今期「環境美化・マナーアップ」をテーマに活動しています。特に、たばこ等のポイ捨てを減らすために何ができるかを中心に、委員会内での議論に加え、関係団体との意見交換会も重ねてきました。所管事務調査の取りまとめに向け、今回の視察先についても検討した結果、豊平区の「とよひらまちづくりパートナー制度」を選定しました。

豊平区役所では、市民部地域振興課まちづくり調整担当係の方から説明を受けました。同制度では、地域のまちづくり活動に参加・協力する意欲のある企業、学校、スポーツチームなど多様な団体に「地域のためにできること」を登録してもらい、「地域のパートナー」として行政と共にまちづくりを進めているとのことでした。

制度創設の背景には、地域活動の担い手の高齢化・固定化や、地域の民間企業等への情報提供不足があるそうですが、町内会加入率は60%以上と、立川市と比べて約2倍の水準にある点も印象的でした。さらに、札幌市全体で86か所の「まちづくりセンター」が設置され、情報収集や広報を担いながら、市と地域をつなぐ重要な役割を果たしていることが分かりました。

また、私たちが進める「ごみのポイ捨て防止」についても、地域にあるスポーツ関連企業や大学等と連携し、ポイ捨て防止のフラッグを作成するなど、周知・啓発の工夫をしてはどうかといった助言もいただきました。

5. 所感

事前に送付していた質問事項にも大変丁寧にご回答いただき、町会、企業、学校、スポーツチームなど多様な主体と連携しながら、地域の中で一体となってまちづくりに取り組む姿勢がよく伝わってきました。

立川市においても、フラッグやステッカー等のツールを活用しつつ、「立川らしさ」を生かしたデザインや展開の工夫ができるよう、提案につなげていきたいと思っております。

立川市議会環境まちづくり委員会 行政視察報告

○2日目 北海道石狩市

視察事項：・ゼロカーボンの取り組み

・再生可能エネルギーの地産地活について

1. 日時 2025年11月5日（水）10時から

2. 場所 石狩市役所

3. 視察参加者 環境まちづくり委員会

委員長：中町聡 委員：上條彰一、福島正美、高口靖彦、江口元気、あべみさ

4. 報告

石狩市役所では、環境課ゼロカーボン推進担当、企画政策部企業連携推進課の方たちから説明を受けました。それによると、石狩市は市域の約7割を森林が占めており、その他の地域はゾーニングにより、居住地と産業地域に区分されています。2022年には、環境省の「脱炭素先行地域」第1回公募において、全国26自治体の一つとして選定され、先進的な取り組みを進めています。

市内の小中学校等を含む公共施設23施設では、地元で創出した再生可能エネルギーにより電力を賄っているとのこと。石狩市には、太陽光、陸上風力、バイオマス、洋上風力など、多様な再生可能エネルギー電源が整備されています。

また、データセンターの誘致にも取り組んでおり、再エネ100%で運営するゼロエミッション・データセンターを、2024年10月1日に実現しています。

洋上風力については、全国で2例目となる大規模洋上風力発電所であり、学びのフィールドとしても活用されています。高校の修学旅行（教育旅行）の受け入れや、北海道科学大学での講義等も実施しているとのことでした。

5. 所感

洋上風力発電の設置場所も実際に見学させていただきました。日本は洋上風力発電のポテンシャルが高いと言われる一方で、導入が十分に進んでいない現状があります。その中で石狩市は、今後の拡大を見据え、導入を着実に進めようとしていました。

昭島市や日野市のように住宅地の中にデータセンター設置の計画がありますが、しっかりと居住地と産業地がゾーニングされ、再エネも十分に供給できる石狩市のようなところに建設を促すよう国にも求めたいと思いました。

太陽光、風力、バイオマスなど、あらゆる再エネに挑戦する姿勢は、立川市においても参考にしていきたいと感じました。

